

161 最も重要な掟、ダビデの子についての問答

マルコによる福音書 12 : 28~34、マタイ 22 : 34~40、ルカ 10 : 25~28

マタイによる福音書 22 : 41~46、マルコ 12 : 35~37、ルカ 20 : 41~44

▶最も重要な掟 (マルコによる福音書 12 : 28~34、マタイ 22 : 34~40、ルカ 10 : 25~28)

28 彼らの議論を聞いていた一人の律法学者 (回復訳 : 聖書学者) が進み出、イエスが立派にお答えになったのを見て、尋ねた。

「あらゆる掟のうちで、どれが第一でしょうか。」

【参考】モーセの律法にある 613 の戒律 (命令)

モーセの律法にある 613 の戒律 (命令) の内、①248 は ミツヴォット・アセー (「積極的戒律 (命令)」 : 行動を促す命令) で、古代ヘブライ人が人体の骨と重要な器官の数であると信じた数、②365 は ミツヴォット・ロー・タアセー (「消極的戒律 (命令)」 : 行動を慎む命令) で一年間の日数である。

→ウィキペディア「[613のミツワー](#)」

29 イエスはお答えになった。

「**第一の掟**は、これである。『**イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、**(比類なき) **唯一の主である。**」

30 **心を尽くし、精神** (→魂 soul : 聖書協会共同訳) **を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』**

→ (N I V) Love the Lord your God with all your heart (心) and with all your soul (魂) and with all your mind (思い : 気質、関心、等々) and with all your strength (力).

(NKJV) And you shall love the Lord your God with all your heart, with all your soul, with all your mind, and with all your strength.

④聖書協会共同訳では、申命記 28 : 28 (主はまた、あなたを打って正気を失わせ、目を見えなくし、精神を錯乱させる。)を除き、「精神」は「魂」に変更されている。

→申命記 6 : 4~5

聞け (シェマー : ヘブライ語)、イスラエルよ、我らの神、主は唯一 (エハッド) の主 (→ヤハウエ/ヤーウエ→読む時は「アドナイ」と読む) である。あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。

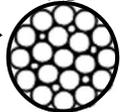
→聞け、イスラエルよ。我らの神、主は唯一の主である。

=シェマー・イスラエル・アドナイ・エロヘイヌ・**アドナイ**・**エハッド echad** (ヘブライ語)

唯一神 ヤハウエ YHWH (Yahweh)

ただの「1」ではなく、複数からなる「一」
複合体としてひとつという意味で、単なる一つという意味ではない

イメージ図→



31 **第二の掟**は、これである。『**隣人を自分のように愛しなさい。』**

この二つにまさる掟はほかにない。』

→レビ記 19 : 18

復讐してはならない。民の人々に恨みを抱いてはならない。自分自身を愛するように隣人を愛しなさい。わたしは主である。

→**神への愛(30節)**と**隣人への愛(31節)**→この二つの掟(命令)は、十戒の中にはない。

32 律法学者はイエスに言った。

「先生、おっしゃるとおりです。『**神は唯一である。ほかに神はない**』とおっしゃったのは、本当です。

33 そして、『**心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛する**』ということは、どんな焼き尽くす献げ物やいけにえよりも優れています。」

→儀式的清めに疑問を抱いていたこの律法学者は、イエスの回答に完全同意した。

34 イエスは律法学者が適切な答えをしたのを見て、「**あなたは、神の国から遠くない**（救いに近い）」と言われた。
もはや、あえて質問する者はなかった。

▶**ダビデの子についての問答**（マタイによる福音書 22：41～46、マルコ 12：35～37、ルカ 20：41～44）

41 ファリサイ派の人々が集まっていたとき、イエスはお尋ねになった。

42 「**あなたたちはメシア**（→イエス・キリスト）**のことをどう思うか。だれの子だろうか。**」

→ファリサイ派の人々は、イエスがメシアだとは信じていなかった。

彼らが、「**ダビデの**（家系から生まれた）**子です**」と言うと、

43 イエスは言われた。

「**では、どうしてダビデは、霊を受けて**（→聖霊に動かされて）、**メシアを主と呼んでいるのだろうか。**」

44 『**主**（→神）**は、わたし**（→ダビデ）**の主にお告げになった。**「**わたし**（→神）**の**（権力と栄誉の場である）**右の座に着きなさい、**／**わたし**（→神）**があなた**（→ダビデ）**の敵を**／**あなた**（→ダビデ）**の足もとに屈服させるときまで**」と。』

→（リビング・バイブル）「それでは、なぜダビデは聖霊に動かされて語った時、このように、キリストを『主』と呼んだのでしょうか。『神が私の主に言われた。「わたしがあなたの敵をあなたの足の下に置くまで、わたしの右に座っていなさい。」』

→詩編 110：1【ダビデの詩。賛歌。】

わが主に賜った主の御言葉。「わたしの**右の座**に就くがよい。わたしはあなたの敵をあなたの足台としよう。」

→詩編 110：1 は、新王の即位の時に詠まれた。新王が神に選ばれたのは、真実と公正をもって国を治め、貧しい人々を助けるためであった。足台は王座と共に使われた（歴代誌下 9：18）。古代の王座の足台には、打ち負かした敵の絵が描かれているものもあった。

【参考】**ダビデの子孫はメシアである**

1. ルカによる福音書 2：11

今日**ダビデの町**で、あなたがたのために**救い主がお生まれになった**。この方こそ**主メシア**である。

2. ヨハネによる福音書 7：42

メシアはダビデの子孫で、ダビデのいた村ベツレヘムから出ると、聖書に書いてある（ミカ 5：1）ではないか。

45 **このようにダビデがメシア**（→キリストのこと）**を主と呼んでいるのであれば、どうしてメシア**（→キリスト）**がダビデの子なのか。**」

→（リビング・バイブル）ダビデがキリストを『主』と呼んでいるのなら、キリストが、ただのダビデの子であるわけではありません。」

→ルカによる福音書 2：11

今日**ダビデの町**で、あなたがたのために**救い主がお生まれになった**。この方こそ**主メシア**である。

→ヨハネによる福音書 7：42

メシアはダビデの子孫で、ダビデのいた村ベツレヘムから出ると、聖書に書いてあるではないか。

→イエス・キリストは神で、神性において神の御子であり、ダビデの主（神）です。また、キリストは、人性において人であり、ダビデの家系から生まれた子です。

46 これにはだれ一人、ひと言も言い返すことができず、その日からは、もはやあえて質問する者はなかった。

【参考】精神

精神は、知性的存在者の認識能力、意志能力、判断能力の総称である（＝心、意識、気力、理念、理性、悟性、知性など）。

一般には、魂は感情、知覚、受動性にかかわる能力とされるのに対して、精神は能動的で知知的な働きとされる。（ウィキペディア）

タイトル(書名)	章:節 聖句 【検索対象総数：8 / 聖句等の総数 33250 (精神)8個】 ※新共同訳聖書では、「精神」は8回登場します。ところが・・・。	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：精神]
K 申命記	28:28 主はまた、あなたを打って、気を狂わせ、盲目にし、精神を錯乱させられる。 The Lord will afflict you with madness, blindness and confusion of mind .	★ mind ①知力、知性、思考力、頭脳 ②心、精神、③ものの考え方、気質 ④意見、意向、本心、願望、好み ⑤注意、関心、⑥知的な人、⑦記憶、回想、 ⑧正気、平静、理性
K 箴言	個人的には「魂」より「動機」「目的」の方が適訳と思う→ 精神 → 魂 (聖書協会共同訳) 16:2 人間の道は自分の目に清く見えるが、主はその 精神 を調べられる。 All a person's ways seem pure to them, but motives are weighed by the Lord.	★ motive ①動機、目的、意志、意欲
S マタイによる福音書	(聖書協会共同訳)『心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』 22:37 イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』 Love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your mind .	
S マルコによる福音書	(聖書協会共同訳)『心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』 12:30 心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』 Love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your mind and with all your strength.	
S ルカによる福音書	(聖書協会共同訳)『心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』 10:27 彼は答えた。『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。』 Love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your strength and with all your mind	★ soul ①魂、靈魂、靈、②精神、③熱情、生氣、氣迫、④本質的部分、生命、信條 等
S テモテへの手紙Ⅰ	6:5 絶え間ない言い争いが生じるのです。これらは、精神が腐り、真理に背を向け、信心を利得の道と考える者の間で起こるものです。 and constant friction between people of corrupt mind , who have been robbed of the truth and who think that godliness is a means to financial gain.	
S テモテへの手紙Ⅱ	3:8 ヤンネとヤンブレがモーセに逆らったように、彼らも真理に逆らっています。彼らは 精神 の腐った人間で、信仰の失格者です。 Just as Jannes and Jambres opposed Moses, so also these teachers oppose the truth. They are men of depraved minds , who, as far as the faith is concerned, are rejected.	精神 → 知性 (聖書協会共同訳)
S ヘブライ人への手紙	4:12 というのは、神の言葉は生きており、力を発揮し、どんな両刃の剣よりも鋭く、 精神 と 霊 、関節と骨髄とを切り離すほどに刺し通して、心の思いや考えを見分けることができます。 For the word of God is alive and active. Sharper than any double-edged sword, it penetrates even to dividing soul and spirit , joints and marrow; it judges the thoughts and attitudes of the heart.	精神 → 魂 (聖書協会共同訳)

⑧「聖書協会共同訳」では、「新共同訳」で誤訳(?)と思われる箇所が訂正されている(英文聖句は NEW INTERNATIONAL VERSION を用いています)。

▶精神 (広辞苑)

- ① (物質・肉体に対して) 心。意識。たましい。
- ② 知知的・理性的な、能動的・目的意識的な心の働き。根気。気力。→「向学の精神」
- ③ 物事の根本的な意義。理念。→「建学の精神」
- ④ 個人を超えた集団的な一般的傾向。時代精神・民族精神など。
- ⑤ 多くの観念論的形而上学では、世界の根本原理とされているもの。例えば、ヘーゲルの絶対精神の類。

▶精神 (明鏡国語辞典)

- ① 思考や感情の働きをつかさどる心。→「健全なる精神」
- ② 物事を成し遂げようとする気力。→「不撓不屈の精神」
- ③ 物事を支える根本となるもの。理念。→「民主主義の精神」

▶精神 (ブリタニカ国際大百科事典)

非物質的現象またはその基本とされる実体をさす概念。

その直接的認識は不可能なので精密な概念規定はなく、各思潮、各学派などで異なる。

原語は風、息吹きを意味し、人間に宿るきわめて軽妙なものと考えられ、生命の原理とされる。ここから神、天使なども精神とされ、特に神から離反する肉に対し神に従う**霊**と同義に用いられた。

一般には思考全般をさし、対象に対する主体が精神とされ、また物質、生み出されたものとしての自然、本能としての肉などに対立する知性をさし、転じては学説や制度などの中核的理念をも意味する。

▶精神 (新漢語林)

- ① ところ。たましい。⇔肉体。② 気力。元気。③ 生氣のあふれていること。生氣・光彩があつて美しいこと。④ 意義、理念。